

平成29年度第3回印西市スポーツ推進審議会 会議録

- 1 日 時 平成30年3月12日（月）午前10：00～午前11：15
- 2 場 所 松山下公園総合体育館 会議室
- 3 出席委員 青木和浩委員（会長）、五十嵐靖宏委員（副会長）、青柳豊子委員、早野敏委員
高梨峰子委員、三浦徹委員、飯塚憲二委員、秋山剛委員、寺島光浩委員
- 4 欠席委員 本郷美代委員
- 5 事務局 スポーツ振興課 川村課長、村越主査、佐藤主査補
- 6 傍聴者 なし
- 7 議 題 （1）平成30年度スポーツ事業の計画について
（2）その他
- 8 議事録 要点筆記

- (1) 開 会 <進行 事務局>
- (2) あいさつ <青木会長>
- (3) 報告事項 <議長 青木会長>

・会議録への署名捺印者の選任、委員の互選により、青木会長と秋山委員に決定。

①平成29年度スポーツ事業の報告について

- 事務局説明 —
- 質 疑 —

会 長：室内棒高跳び大会は、室内大会としてはかなり知られてきており、澤野選手をはじめ日本のトップ選手が参加している。

クライミング施設については、中国国家体育総局の役員の視察が予定されており、以前には、市の施設としてクライミング施設が設置されていることはあまりないということで北京体育大学も視察に来ている。

オリンピック・パラリンピックについては、ソフトボールのカナダ代表や日本代表チーム、ゴールボールの日本代表が合宿を行っている。

こういった取り組みをもっとプロモーションしていけば良いと思う。他市ではシティプロモーション部を設置しているところもあるが、印西市の担当はどこになるか。

事務局：4月からシティプロモーション課ができ、オリンピックパラリンピック推進室がそちらに移ります。

会 長：そうなる、取り組みをプロモーションできる体制になるので、大々的にプロモーションをしていただきたい。

(4) 議題 <議長 青木会長>

①平成30年度スポーツ事業の計画について

— 事務局説明 —

— 質 疑 —

委 員：ゴールボールを誘致するのであれば、この競技を広め、関係する人を育成していかなければいけないのではないか。

事務局：オリンピック・パラリンピック推進室とともに、合宿、大会等で今後ボランティアを募集していくことになると思います。

会 長：先日、順天堂大学とゴールボール協会連携協定を締結し、日本代表合宿では順天堂大学の学生を派遣してタイムキーパーなどを行っており、市のスポーツ推進委員も何名か参加されている。

ゴールボールは、パラリンピックの千葉県開催競技であり、これを印西市から発信しようということがこういった取り組みの根底にある。今後、合宿を見学に行くなどの企画ができると思う。

ゴールボールは、スポーツのなかで静かにしなければならない時、盛り上がってよい時があるため教育効果があるといわれており、教材として平賀小、六合小、印旛中に行つて検証している。今後もスポーツ振興課やオリンピック・パラリンピック推進室とも連携していければと思っている。

委 員：体育協会の中に健常者のスポーツ団体は入っているが、障害者スポーツの受け入れ体制づくりは行っているか、また今後行う予定はあるか。

事務局：スポーツが多様化しており、競技人口の少ないスポーツはたくさんありますので、市としてどこまでサポートできるかは難しい状況です。

体育協会は加盟規則により、加盟の要件があります。緩和することでどんな団体でも受け入れる形になってしまうことは、協会の存続に影響を与える恐れがあります。

パラリンピック競技も含め競技人口の少ない競技に対し、市としてどういった支援をしていけば良いか、考えていかなければならないと思います。

会 長：スポーツ推進審議会としては、健常者だけでなく障害をもった方のスポーツ振興も考えていただきたい。

委 員：マラソンについては、市外からもたくさんの方が参加される。市を盛り上げる意味でも是非やっていただきたい。

会 長：スポーツ医学セミナーでは、多くの方に参加していただき、市民の意識の高さを感じた。学びたいという意欲を感じたので、何か学びに結びつくような事業があれば良いと思う。

— 承 認 —

②その他

委 員：体育館をもっと利用していただくにはどうしたら良いかということを考えてもらいたい。現在の1月前からの予約では予定が立てられない。他の市では2か月前からになっているところもある。もっと利用し易くなるよう考えてもらいたい。

以上

平成29年度第3回印西市スポーツ推進審議会会議録は事実と相違ないことを認める。

平成30年4月11日

スポーツ推進審議会 会長 青木 和浩

スポーツ推進審議会 委員 秋山 剛